

祝 世界遺産登録



佐渡金銀山 道遊の割戸

第13回 通常総会特集号

法人会は「企業の発展を支援し、地域の振興に寄与する経営者の団体」!

会員増強運動実施中

会員の皆様には、是非、1社につき新規会員1社獲得を目標に
あなたのお仲間企業を会員に!

消費税期限内納付

法人会 一声運動

新潟市中央区西堀通
3番町258番地24
新潟法人会
電話 (223)-1242
FAX (225)-5699



役にたつホームページ

公益社団法人 新潟法人会

第13回通常総会開催

去る6月4日(火)午後2時より「新潟グランドホテル」において、第13回通常総会が盛大に開催されました。

総会で新任理事に選任された並木富士雄氏が、第2回理事会において新会長に選定されました。

坂井会長挨拶

第13回通常総会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多用のところ多数の会員の皆様にご参加をいただき、盛大に総会を開催できますことを厚く御礼申し上げます。

また、ご来賓として、公務ご多忙にもかかわらず、新潟税務署からは田中署長をはじめ幹部の方々、新潟県知事の代理として総務部税務課の西片課長、新潟市長の代理として財務部の小関税務監、関東信越税理士会新潟支部からは山口支部長、そして福利厚生制度協力保険会社3社のそれぞれ支社長・支店長・課長の方々からご出席をいただいております。

誠にありがとうございます。



さて、新潟法人会の事業運営に對しまして、日ごろから皆様には、深いご理解とご指導を賜っており、重ねて御礼を申し上げます。

ご承知のように、本会は、税知識の普及、納税意識の高揚に努め、税制・税務に関する提言を行い、もって適正・公正な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与すると共に、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目的としております。

お蔭様で、令和5年度の事業も会員の皆様および関係諸団体のご支援・ご協力によりまして無事に終了することができました。

法人会の大切な事業である研修活動につきましましては、講師を税務署および税理士の先生方等にお願いし、ほぼ計画どおり実施することができました。

また、法人会の福利厚生制度は、会社と社員の皆様を守るための保険制度を通じて、協力保険会社3社のご協力により法人会の基盤強化に貢献致しております。

さらに、組織の強化・充実のための活動につきましましては、皆様より会員増強にご尽力をいただいております。心から感謝を

申し上げます。令和5年度の会員増強運動で功績のあった皆様には、そのご努力に対し後ほど表彰させていただきます。

今後とも、会員の皆様をはじめ関係団体のご協力をいただきながら、皆様のお役に立てるように会の運営を進めていきたいと考えております。

結びになりますが、令和6年度の法人会事業活動に對しまして、より一層のご協力をお願いするとともに、ご出席の皆様のご健勝と会員企業のますますのご発展を祈念いたしまして開会の挨拶といたします。

議 事

【決議事項】

- 第1号議案 令和5年度決算報告承認の件
- 第2号議案 理事1名の選任(案)承認の件
- 第3号議案 その他

【報告事項】

- (1) 理事会承認事項
 - 令和5年度事業報告
 - 令和6年度事業計画
 - 令和6年度収支予算
- (2) その他

全法連・県連功労賞等受賞者

表彰受賞者は、6月12日県連通常総会席上で表彰されました。
 全国法人会総連功労者表彰
 該当者なし

新潟県法人会連合会功労者表彰

(単体会役員関係)
 後藤 透様 (金清木材(株))
 佐藤 信久様 (株)千代田設備
 (事務局専従役員関係)
 該当者なし

会員増強功労者表彰式

表彰基準を達成した団体・個人が表彰されました。

団体表彰 該当団体なし
 個人表彰 村山 弥紀様
 (大同生命保険(株))
 特別表彰 大同生命保険(株) 新潟支社

令和5年度事業報告

〔概況〕
 令和5年度の事業につきまして、新型コロナウイルス感染症が昨年5月に5類に移行したこともあり、概ね事業計画通り、各種活動に取り進むことができました。

〔公益関係〕

「税を巡る諸環境の整備改善事業」

の「税に関する研修・セミナー事業」として、実施回数は39回、参加人数1,456名と、大勢の皆様にご参加いただきましたが、コロナ以前にはまだ及びませんでした。更なる参加者増加のため、今後も魅力ある研究会の開催に努めて参ります。

「租税教育活動」では、次世代を担う児童や生徒の皆さんに、税の重要性を正しく理解し関心を持つため、税務署、税理士会等と連携して租税教育活動に積極的に取り組みました。

租税教室は、青年部会が中心となり、市内の小学校を訪問し「租税教室」を実施しております。GIGAスクール設備を有効に活用し、時短・効率化により授業内容の拡充を図るなど、工夫した授業を展開しました。令和5年度は、小学校数14校で27コマを担当し、児童804名が受講しました。

「税に関する絵はがきコンクール」は女性部会が中心となって実施しております。租税教室等で学んだ知識、感想などを絵はがきに書くことでより理解を深めてもらうことを目的としています。

令和5年度は、新潟市内の小学校82校に絵はがきコンクールへの参加を要請し、32校から693作品の応募がありました。前年より参加校も作品数もわずかですが増加となりました。応募作品の中から、金賞、銀賞、銅賞、優秀賞および税務署長賞を選

定し表彰しました。優秀作品については、税を考える週間に合わせて、NEXT21とアピタ新潟西店、アピタ新潟亀田店にそれぞれ掲示しました。

「税についての作文」事業には、新潟税務署管内税務団体協議会の一員として参加し、中学生および高校生、「税についての作文」事業の応募作品の中から、中学生・高校生のそれぞれ1編ずつに対して新潟法人会の会長賞を授与し表彰しました。作品は令和6年2月発行の会報154号で紹介しました。

「税制改正提言活動」では、令和6年度税制改正重要事項を新潟県連と合同で作成し、全法連へ提出しております。

要望実現のための提言活動の展開として、令和5年11月6日に管内選出の衆参国会議員、知事、県議会議長、新潟市長、市議会議長へ、「令和6年度税制改正に関する提言」を提出しました。

「地域の経済社会環境の整備・改善を図るための事業」として、経営支援に関する研修会を多彩なテーマと講師により、17回開催し、総勢1,319名の参加がありました。

社会貢献活動では、令和6年3月2日の土曜日にANAクラウンプラザホテル新潟において、タレントの山田邦子氏の講演会を開催しました。

489名の皆様から参加申し込み

いただき、チャリティで集まったタオルが705枚となりました。タオルは後日、新潟市社会福祉協議会や、市内の老健施設に寄贈させていただきました。また、当日は令和6年能登半島地震への義援金募金を行い、集まった義援金41,298円を後日新潟県の災害対策本部へ振込みしました。

税の啓蒙活動と献血活動では、青年部会で令和5年10月29日(日)に





並木新会長ごあいさつ

〔管理関係〕
議案書記載の各種会議等を開催、並びに出席し充実を図りました。
特記事項としては、「県連女連協合同セミナーin新潟」が10月にANAクラウンプラザホテル新潟で開催され、開催地の女性部会として、準備から運営に携わりました。ご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

新潟市東総合スポーツセンターで、小学生から大人まで楽しめる税金クイズと献血活動を実施しました。
〔共益関係〕
「組織の強化・充実」のための会員増強に関しては、会員の減少に歯止めをかけるべく、「前年以上の会員数確保」を基本方針として、「役員一人1社獲得運動」など推進してきましたが、後継者問題やコロナ禍、物価上昇等の影響により、廃業・統

合や経費削減を理由とする退会が続いています。
令和6年3月末では2,758社となり、3,000社を大きく割込んでいるためにも会員増強が必要不可欠ですので、皆様のご協力をお願いいたします。
福利厚生事業では、福利厚生制度加入企業拡大キャンペーン「challenge 100」が令和5年度から新たにスタートしました。財政基盤維持確保のためにも、さらなる皆様のご協力をお願いいたします。
会員支援事業としては「優良経理担当職員表彰式」を令和5年11月7日火曜日にホテルイタリア軒で開催し、14社18名の方々を表彰しました。

記念講演会

双日総合研究所チーフエコノミスト
吉崎 達彦 氏



第13回通常総会終了後に、双日総合研究所チーフエコノミストの吉崎 達彦氏に記念講演をお願い致しました。
今回はアメリカ大統領選挙を控え、「米大統領選挙の行方を読む」と題してご講演いただきました。
吉崎氏は米国の政治情勢にご造詣が深く、トランプ前米大統領に対する「口止め料」事件からトランプ氏が大統領に返り咲く「もしトラ」の場合の政策、今後の日米関係まで、



政界の裏事情を交えてユーモアたっぷりにご講演頂きました。
競争力強化や経済安全保障、サプライチェーン強靱化などから、米ハイテク企業は過去に類を見ないほど積極的に対日投資を進めており、「どちらが大統領になっても、日本としてはうまくやっていくしかない」との吉崎氏の最後の言葉に改めて日本の置かれている立場を認識することとなりました。
ご講演をお聞きになられた皆様はどのような感想をお持ちになられたでしょうか。
吉崎様 誠にありがとうございました。



令和6年度 事業計画

I 活動の基本方針

公益社団法人の新潟法人会は、「法人会は、税知識の普及・納税意識の高揚に努め、税制・税務に関する提言を行い、もって適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与すると共に、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目的とします。」と掲げている。

事業の実施にあたっては、法人会の原点である「税」に関する活動に軸足を置きながら、組織・財政基盤の強化を図るために会員増強に注力すると共に、地域の活性化にも配慮しつつ以下に掲げる諸施策に取り組む方針である。

II 主な事業計画

1. 税を巡る諸環境の整備・改善等を図る事業

(1) 税に関する研修・セミナー事業
税知識の一層の普及・啓発に努めることとし、会員を含めた多数の市民を対象に、税務に係る幅広い知識の普及、税務コンプライアンスの向上、及び経営・財政を取り巻く諸問題の改善を目的とした研修会やセミナーを開催する。また、電子帳簿保存法の理解、

インボイス制度の定着、電子申告(e-tax)の普及などに向けて、引き続き関連のセミナー・研修会の開催に注力する。

(2) 講演会事業

税務署幹部職員、大学教授、ジャーナリスト等様々な視点から、税制に関する考え方を聞くことで視野を広げ、「税」を身近に感じることができるよう会員・一般に広く参加を募り、社会情勢等に即したテーマの講演会を開催する。

(3) 租税教育事業

次世代を担う児童・生徒に税の仕組み等を理解してもらうため、租税教育の充実に努める。新潟税務署管内の小学校を対象に、青年部会によるGIGAスクール設備を活用した「租税教室」、女性部会による「税に関する絵はがきコンクール」を継続して推進する。

(4) 税の広報事業

改正税法、インボイス制度、電子帳簿保存法、税務申告の情報などの早期周知・定着及び電子申告(e-tax)のさらなる普及に資するため、PR活動を継続していく。ホームページや広報誌に必要情報をタイムリーに掲載する。広報

誌は、公共施設や金融機関窓口に配置することで、多くの市民に税務情報の提供を図る。

また、イベント会場での税に関するクイズの実施、日本の税制に関する冊子の配布などにより、市民に税制への関心を持ってもらう事業を継続する。

(5) 税の調査研究(支援を含む)及び社会への提言事業

財政健全化と持続可能な社会保障制度を構築するため、社会保障と税の一体改革に本腰をいれて取り組むことが求められている。さらには、少子高齢化やグローバル化の進展、アフターコロナへの対応などの社会構造の変化と諸課題に広く対処していくことが必要である。

これらを踏まえ、地域の担い手である中小企業の活性化に資する税制をはじめ、税のオピニオンリーダーとして建設的な提言を行っていく。

この事業として、会員各社の税に対する意見・要望を収集し、その意見・要望をもとに、税制改正要望を取りまとめ、国会、地方議会、関係官庁に向けて提言していく活動を県連・全法連と連携して進めていく。

(6) 企業の税務コンプライアンスの向上施策

企業の内部統制の強化や経理水準の向上は、企業の成長や税務リスクの軽減のために重要である。国税当局等と協力して製作した「自主点検チェックシート」を、研修会・セミナー等の開催時に活用し、税務コンプライアンス向上に積極的に取り組んでいく。

(7) e-Taxの普及及び定着についての取り組み

納税者の利便性向上、税務行政の効率化を図るため、会員企業に対し、添付書類も含めたe-Taxの利用、キャッシュレス納付等の電子化を周知・促進する。また、会員企業は、添付書類も含めてe-Taxにより申告書を提出いただくよう、関与税理士に働き掛けを行う。

2. 地域の経済社会環境の整備・改善等を図る事業

(1) 講演会・セミナーの開催事業
地域社会の活性化等を目的に、会員及び一般を対象に、政治経済情報、健康情報、福祉の情報等の講演会や実務セミナーを開催する。

講師は、政治・経済学者、ジャーナリスト、コンサルタント、アナ

リスト、文化人等、幅広い分野の専門家の中から選定する。

(2) 地域の福祉問題や環境問題などの改善に資する事業

会員および市民からチャリティでタオルを提供していただき、福祉施設・医療施設の現場で利用してもらったり、広く花の種や球根を配付し環境美化活動に取り組むことで、福祉問題や環境問題の改善への貢献を図る。

また、日本赤十字新潟支社と共同で、社会貢献活動の一環として、スポーツイベント会場等を利用して、献血活動に協力する。

3. 会員支援のための親睦・交流及び福利厚生に資する事業

(1) 組織の強化・充実

法人会活動を充実させるためには、組織・基盤強化が重要であることから、会員数を維持・増加を図るための諸施策を実施する。役員の率先した参画と指導および協力保険会社3社との連携強化により新規会員募集の推進を行うとともに、退会防止策を講じる等の対応策を展開する。
法人会事務局のガバナンス強化、職員の資質向上を目的として、地域部会事務担当者会議を開催する。

(2) 広報活動の充実

会報の年3回発刊などにより、法人会の知名度アップ・活動内容の周知を図り、会員増強等に資する広報活動に取り組む。
ポスター・新聞広告等によるPRを行うほか、ホームページの充実、パブリシティ活用等の広報活動を展開する。

(3) 女性部会・青年部会の充実

① 「女性部会のあり方(指針)」に沿って、女性部会員の資質向上と法人会活動の充実・活性化に努める。
税の啓発活動としての小学生対象の「税に関する絵はがきコンクール」や食品ロス削減への取組みの検討などの社会貢献活動を積極的に進める。

② 青年部会の活動としてGIGAスクール設備を活用した「租税教室」を推進し、「献血活動」、「部会員増強運動」、「健康経営推進」等についても、引き続き積極的な展開を図る。

また、青年部会の部会員を対象として実施する全法連のアンケート調査システムの普及・活用に努める。

(4) 法人会会員の福利厚生の向上に資することを目的とする事業

会員企業の福利厚生の向上に資するため、また法人会の財政基盤の一層の強化を図るため、協力保険会社3社との一層の連携強化により、福利厚生制度の充実、推進を図っていく。

(5) 優良経理担当職員表彰

会員企業の経理業務に永年の功労があつた担当者に対し、新潟法人会会長名により「優良経理担当職員表彰」を行う。
これらにより、一層の納税協力活動の推進者を育成するとともに、会員企業の発展を支える人材の育成に寄与する。

4. 本会の組織を充実し全国法人会総連合・新潟県法人会連合会と連携強化を図る事業

会員支援のために、異業種交流の一環として、会員間の情報交換や相互の親睦事業を行うほか、会員等に限定した研修会講習会などの事業を行う。

5. 本会の活動に関係する諸官公庁との連携を図る事業

6. その他、本会の目的達成に必要な事業

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	37,162,539	35,599,432	1,563,107
現金	102,775	131,739	△ 28,964
普通預金	34,059,764	32,467,693	1,592,071
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
前払金	21,000	131,460	△ 110,460
【流動資産合計】	37,183,539	35,730,892	1,452,647
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
【基本財産合計】	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,380,344	2,856,719	523,625
修繕積立引当資産	0	1,430,000	△ 1,430,000
【特定資産合計】	3,380,344	4,286,719	△ 906,375
(3) その他固定資産			
建物	14,830,873	15,847,847	△ 1,016,974
建物附属設備	737,690	518,039	219,651
土地	43,913,266	43,913,266	0
電話加入権	72,800	72,800	0
保証金	50,000	50,000	0
【その他固定資産合計】	59,604,629	60,401,952	△ 797,323
【固定資産合計】	67,984,973	69,688,671	△ 1,703,698
【資産合計】	105,168,512	105,419,563	△ 251,051
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	755,897	0	755,897
預り金	395,766	409,014	△ 13,248
【流動負債合計】	1,151,663	409,014	742,649
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,380,344	2,856,719	523,625
【固定負債合計】	3,380,344	2,856,719	523,625
【負債合計】	4,532,007	3,265,733	1,266,274
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
【指定正味財産合計】	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	100,636,505	102,153,830	△ 1,517,325
【一般正味財産合計】	100,636,505	102,153,830	△ 1,517,325
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(1,430,000)	(△ 1,430,000)
【正味財産合計】	100,636,505	102,153,830	△ 1,517,325
【負債及び正味財産合計】	105,168,512	105,419,563	△ 251,051

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(管理費のうち事業費配賦額)	27,866,285	24,509,272	3,357,013	
役員報酬	2,141,400	2,211,120	△ 69,720	
給料手当	10,718,532	11,978,391	△ 1,259,859	
退職給付費用	450,318	587,701	△ 137,383	
福利厚生費	2,035,192	2,197,681	△ 162,489	
事務委託費	765,400	0	765,400	
旅費交通費	554,648	1,402,347	△ 847,699	
通信運搬費	453,750	343,926	109,824	
減価償却費	889,202	871,865	17,337	
消耗品費	824,581	746,513	78,068	
修繕費	1,352,780	175,433	1,177,347	
印刷製本費	31,691	60,561	△ 28,870	
燃料費	14,407	14,632	△ 225	
光熱水料費	363,202	418,400	△ 55,198	
保険料	70,636	73,003	△ 2,367	
租税公課	771,859	771,691	168	
リース料	1,321,880	1,327,334	△ 5,454	
事務所管理費	791,972	765,694	26,278	
委託費	3,592,575	0	3,592,575	
支払手数料	631,367	427,858	203,509	
雑費	90,893	135,122	△ 44,229	
管理費	7,744,529	6,940,277	804,252	
役員報酬	348,600	278,880	69,720	
給料手当	1,744,878	1,510,789	234,089	
退職給付費用	73,307	74,124	△ 817	
福利厚生費	331,309	277,185	54,124	
事務委託費	124,600	890,000	△ 765,400	
旅費交通費	90,292	176,873	△ 86,581	
通信運搬費	73,866	43,379	30,487	
減価償却費	169,371	166,070	3,301	
消耗品費	134,233	94,155	40,078	
修繕費	220,220	22,127	198,093	
印刷製本費	5,159	7,639	△ 2,480	
燃料費	2,345	1,846	499	
光熱水料費	59,126	52,771	6,355	
保険料	11,499	9,207	2,292	
租税公課	147,021	146,989	32	
リース料	215,190	167,410	47,780	
事務所管理費	128,926	96,574	32,352	
委託費	584,837	53,863	530,974	
支払手数料	102,781	53,965	48,816	
会議費	2,466,979	2,254,846	212,133	
総会費	1,324,338	1,309,991	14,347	
役員会費	984,493	818,935	165,558	
委員会費	29,200	31,780	△ 2,580	
その他会議費	128,948	94,140	34,808	
諸会費	463,900	485,050	△ 21,150	県連、商工会議所他
渉外慶弔費	25,000	59,493	△ 34,493	
表彰費	206,293	0	206,293	
雑費	14,797	17,042	△ 2,245	
経常費用計(B)	56,289,613	56,206,368	83,245	
当期経常増減額(A - B)	△ 1,517,325	△ 364,375	△ 1,152,950	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益				
固定資産受贈益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損				
固定資産除却損				
災害損失				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,517,325	△ 364,375	△ 1,152,950	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,517,325	△ 364,375	△ 1,152,950	
一般正味財産期首残高	102,153,830	102,518,205	△ 364,375	
一般正味財産期末残高	100,636,505	102,153,830	△ 1,517,325	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	20,556,700	20,822,200	△ 265,500	
受取全法連助成金	20,556,700	20,822,200	△ 265,500	
一般正味財産への振替額	△ 20,556,700	△ 20,822,200	265,500	
一般正味財産への振替額	△ 20,556,700	△ 20,822,200	265,500	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	100,636,505	102,153,830	△ 1,517,325	

[第1号議案] 令和5年度 決算報告承認の件

令和5年度正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	100	100	0	
基本財産受取利息	100	100	0	
特定資産運用益	29	39	△ 10	
特定資産受取利息	29	39	△ 10	
受取会費	28,948,240	29,365,040	△ 416,800	
正会員受取会費	28,851,240	29,270,640	△ 419,400	
賛助会員受取会費	97,000	94,400	2,600	
事業収益	3,008,345	3,010,890	△ 2,545	
会員親睦事業収益	2,373,500	2,294,000	79,500	懇親会等会費収入
青年・女性部会事業収益	634,845	716,890	△ 82,045	青年・女性部会会費収入
受取補助金等	22,468,700	22,662,200	△ 193,500	
受取全法連助成金振替額(A)	20,556,700	20,822,200	△ 265,500	
受取全法連助成金(B)	440,000	350,000	90,000	
受取全法連補助金(B)	302,000	320,000	△ 18,000	会員増強支援・福利厚生推進補助
受取県連補助金(B)	1,170,000	1,170,000	0	
雑収益	346,874	803,724	△ 456,850	
受取利息	488	505	△ 17	
雑収益	346,386	803,219	△ 456,833	
経常収益計(A)	54,772,288	55,841,993	△ 1,069,705	
(2) 経常費用				
事業費	48,545,084	49,266,091	△ 721,007	
(税に関する研修会事業)	1,973,443	4,077,208	△ 2,103,765	
会場費	116,135	114,082	2,053	
資料費	934,442	1,146,530	△ 212,088	
諸謝金	135,096	183,392	△ 48,296	
通信運搬費	195,502	199,921	△ 4,419	
消耗品費	184,721	104,691	80,030	
印刷製本費	348,147	455,087	△ 106,940	
委託費	59,400	1,873,505	△ 1,814,105	
(税法税務に関する教材作成配布事業)	2,482,416	2,658,171	△ 175,755	
資料費	2,482,416	2,085,221	397,195	
委託費	0	572,950	△ 572,950	
(租税教育事業)	934,265	983,224	△ 48,959	
委員会費	21,626	29,340	△ 7,714	
旅費交通費	56,000	42,000	14,000	
通信運搬費	46,397	41,964	4,433	
消耗品費	443,904	500,017	△ 56,113	
印刷製本費	297,406	289,903	7,503	
支払負担金	68,932	80,000	△ 11,068	
(税の広報事業)	101,652	192,057	△ 90,405	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
委託費	0	87,738	△ 87,738	
支払負担金	79,652	82,319	△ 2,667	
(会報発行事業)	2,602,155	3,275,086	△ 672,931	
会報作成費	2,526,425	2,556,202	△ 29,777	
委員会費	75,730	58,450	17,280	
委託費	0	660,434	△ 660,434	
(税制改正提言事業)	68,533	67,210	1,323	
調査研究費	60,533	50,850	9,683	
委員会費	8,000	16,360	△ 8,360	
(地域社会経営支援研修事業)	3,359,832	4,051,509	△ 691,677	
会場費	607,515	587,332	20,183	
資料費	1,059,350	736,020	323,330	
諸謝金	979,235	1,717,071	△ 737,836	
通信運搬費	70,478	103,522	△ 33,044	
消耗品費	184,924	112,882	72,042	
印刷製本費	381,930	235,962	145,968	
委託費	59,400	550,220	△ 490,820	
支払負担金	17,000	8,500	8,500	
(地域社会の経済経営に関する教材作成配布事業)	1,353,000	1,661,776	△ 308,776	
資料費	1,353,000	1,358,500	△ 5,500	
委託費	0	303,276	△ 303,276	
(地域社会貢献活動事業)	2,149,960	2,417,382	△ 267,422	
会場費	870,787	873,189	△ 2,402	
諸謝金	842,946	1,033,175	△ 190,229	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
委員会費	12,000	24,000	△ 12,000	
通信運搬費	19,708	17,971	1,737	
消耗品費	285,994	114,000	171,994	
印刷製本費	96,525	175,725	△ 79,200	
委託費	0	157,322	△ 157,322	
(組織基盤強化のための支援事業)	350,832	613,352	△ 262,520	
会員増強推進費	350,832	613,352	△ 262,520	
委員会費	0	0	0	
(会員支援事業)	646,012	631,408	14,604	
会員表彰事業費	587,012	617,248	△ 30,236	
委員会費	59,000	14,160	44,840	
(会員交流事業)	4,615,621	4,064,741	550,880	
会員交流費	4,615,621	4,064,741	550,880	
(会員の福利厚生への推進に関する事業)	41,078	63,695	△ 22,617	
福利厚生事業費	41,078	63,695	△ 22,617	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
退職給付費用	628,140	385,585	242,555	
福利厚生費	2,065,350	2,048,200	17,150	
事務委託費	750,270	744,040	6,230	
旅費交通費	843,000	836,000	7,000	
通信運搬費	337,200	359,480	△ 22,280	
リース料	1,299,906	1,287,440	12,466	
減価償却費	884,442	884,442	0	
消耗品費	758,700	727,320	31,380	
修繕費	67,440	41,800	25,640	
印刷製本費	84,300	83,600	700	
燃料費	25,290	25,080	210	
光熱水料費	337,200	359,480	△ 22,280	
保険料	69,294	68,728	566	
租税公課	771,691	771,691	0	固定資産税
委託費	3,624,900	3,556,344	68,556	
事務所管理費	741,840	735,680	6,160	
支払手数料	783,990	434,720	349,270	
雑費	101,160	100,320	840	
管理費	7,913,429	8,001,332	△ 87,903	
役員報酬	390,930	408,360	△ 17,430	
給料手当	1,915,400	2,050,000	△ 134,600	
退職給付費用	116,985	75,640	41,345	
福利厚生費	384,650	401,800	△ 17,150	
渉外慶弔費	50,000	50,000	0	
表彰費	30,000	80,000	△ 50,000	
事務委託費	139,730	145,960	△ 6,230	
会議費	2,420,000	2,320,000	100,000	
総会費	1,400,000	1,400,000	0	
役員会費	900,000	800,000	100,000	
委員会費	20,000	20,000	0	
その他会議費	100,000	100,000	0	
旅費交通費	157,000	164,000	△ 7,000	
通信運搬費	62,800	70,520	△ 7,720	
リース料	242,094	252,560	△ 10,466	
減価償却費	168,465	168,465	0	
消耗品費	141,300	142,680	△ 1,380	
修繕費	12,560	8,200	4,360	
印刷製本費	15,700	16,400	△ 700	
燃料費	4,710	4,920	△ 210	
光熱水料費	62,800	70,520	△ 7,720	
保険料	12,906	13,482	△ 576	
租税公課	146,989	146,989	0	固定資産税
諸会費	460,300	463,900	△ 3,600	県連、商工会議所他
委託費	675,100	697,656	△ 22,556	
事務所管理費	138,160	144,320	△ 6,160	
支払手数料	146,010	85,280	60,730	
雑費	18,840	19,680	△ 840	
経常費用計(B)	54,575,012	55,027,722	△ 452,710	
当期経常増減額(A - B)	29,218	14,708	14,510	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益				
固定資産受贈益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損				
固定資産除却損				
災害損失				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	29,218	14,708	14,510	
法人税、住民税、および事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	29,218	14,708	14,510	
一般正味財産期首残高	100,636,505	100,621,797	14,708	
一般正味財産期末残高	100,665,723	100,636,505	29,218	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	20,153,500	20,822,200	△ 668,700	
受取全法連助成金	20,153,500	20,822,200	△ 668,700	
一般正味財産への振替額	△ 20,153,500	△ 20,822,200	668,700	
一般正味財産への振替額	△ 20,153,500	△ 20,822,200	668,700	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	100,665,723	100,636,505	29,218	

[理事会承認事項] 令和6年度収支予算

令和6年度収支予算書(損益計算ベース)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	100	100	0	
基本財産受取利息	100	100	0	
特定資産運用益	30	30	0	
特定資産受取利息	30	30	0	
受取会費	29,300,000	29,690,000	△ 390,000	
正会員受取会費	29,200,000	29,600,000	△ 400,000	
賛助会員受取会費	100,000	90,000	10,000	
事業収益	3,430,000	3,145,000	285,000	
会員親睦事業収益	2,800,000	2,500,000	300,000	懇親会等会費収入
青年・女性部会事業収益	630,000	645,000	△ 15,000	青年・女性部会会費収入
受取補助金等	21,773,500	22,156,700	△ 383,200	
受取全法連助成金振替額(A)	20,153,500	20,556,700	△ 403,200	
受取全法連助成金(B)	350,000	350,000	0	
受取全法連補助金(B)	100,000	80,000	20,000	会員増強支援
受取県連補助金(B)	1,170,000	1,170,000	0	
雑収益	100,600	50,600	50,000	
受取利息	600	600	0	
雑収益	100,000	50,000	50,000	
経常収益計(A)	54,604,230	55,042,430	△ 438,200	
(2) 経常費用				
事業費	46,661,583	47,026,390	△ 364,807	
(税に関する研修会事業)	2,119,400	2,359,400	△ 240,000	
会場費	130,000	150,000	△ 20,000	
資料費	1,100,000	1,200,000	△ 100,000	
諸謝金	70,000	200,000	△ 130,000	
通信運搬費	180,000	180,000	0	
消耗品費	180,000	120,000	60,000	
印刷製本費	400,000	450,000	△ 50,000	
委託費	59,400	59,400	0	
(税法税務に関する教材作成配布事業)	1,860,000	2,200,000	△ 340,000	
資料費	1,860,000	2,200,000	△ 340,000	
(租税教育事業)	991,000	1,116,000	△ 125,000	
委員会費	30,000	30,000	0	
旅費交通費	50,000	60,000	△ 10,000	
通信運搬費	45,000	40,000	5,000	
消耗品費	260,000	500,000	△ 240,000	
印刷製本費	280,000	360,000	△ 80,000	
支払負担金	126,000	126,000	0	
委託費	200,000	0	200,000	租税教室講師用ツール作成
(税の広報事業)	102,000	108,000	△ 6,000	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
支払負担金	80,000	86,000	△ 6,000	
(会報発行事業)	2,560,000	2,620,000	△ 60,000	
会報作成費	2,500,000	2,580,000	△ 80,000	
委員会費	60,000	40,000	20,000	
(税制改正提言事業)	70,000	80,000	△ 10,000	
調査研究費	60,000	60,000	0	
委員会費	10,000	20,000	△ 10,000	
(地域社会経営支援研修事業)	3,709,400	4,099,400	△ 390,000	
会場費	600,000	600,000	0	
資料費	900,000	1,000,000	△ 100,000	
諸謝金	1,650,000	2,000,000	△ 350,000	
通信運搬費	50,000	50,000	0	
消耗品費	190,000	120,000	70,000	
印刷製本費	250,000	250,000	0	
委託費	59,400	59,400	0	
支払負担金	10,000	20,000	△ 10,000	
(地域社会の経済経営に関する教材作成配布事業)	1,500,000	1,500,000	0	
資料費	1,500,000	1,500,000	0	
(地域社会貢献活動事業)	1,932,000	1,872,000	60,000	
会場費	500,000	500,000	0	
諸謝金	1,000,000	1,000,000	0	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
委員会費	20,000	20,000	0	
通信運搬費	30,000	20,000	10,000	
消耗品費	260,000	260,000	0	
印刷製本費	100,000	50,000	50,000	
(組織基盤強化のための支援事業)	520,000	520,000	0	
会員増強推進費	500,000	500,000	0	
委員会費	20,000	20,000	0	
(会員支援事業)	660,000	770,000	△ 110,000	
会員表彰事業費	600,000	740,000	△ 140,000	
委員会費	60,000	30,000	30,000	
(会員交流事業)	4,030,000	3,700,000	330,000	
会員交流費	4,000,000	3,700,000	300,000	
租税公課	30,000	0	30,000	消費税
(会員の福利厚生制度推進に関する事業)	50,000	100,000	△ 50,000	
福利厚生事業費	50,000	100,000	△ 50,000	
(管理費のうち事業費配賦額)	26,557,783	25,981,590	576,193	
役員報酬	2,099,070	2,081,640	17,430	
給料手当	10,284,600	10,450,000	△ 165,400	

役員名簿

令和6年6月

役員は非常勤（専務理事：常勤） 並木 富士雄 は新任

【理事】

役名	氏名	法人名
会長	並木 富士雄	㈱第四北越フィナンシャルグループ
副会長	高橋 秀松	㈱高助
〃	廣瀬 徳男	㈱廣瀬
〃	関本 喜代一	㈱関本製麺製粉工場
〃	高橋 尚子	㈱タカヨシ
〃	金井 利郎	金井度量衡㈱
常任理事	伊藤 尚	㈲丸五商会
〃	栗田 浩	㈱栗田工務店
〃	海津 直矢	白根測量設計㈱
〃	横山 山人	越後工業㈱
〃	齋藤 昭三	㈱山市
〃	伊藤 正弘	㈱北辰鑑定リサーチ
〃	廣田 幹人	新潟総合警備保障㈱
〃	山口 正人	㈲山口建築事務所
〃	坪谷 寛行	日本海不動産㈱
〃	村山 栄一	大協リース㈱
〃	山作 奈穂子	㈱田代商会
〃	田中 健一	㈱クオリス
〃	田中 陽子	㈲エイム
理事	白井 一止	(一社)新潟県自動車整備振興会
〃	蛭子 克己	㈱新潟日報社
〃	福田 勝之	(一社)新潟市建設業協会
〃	外山 洋史	㈱トカン
〃	本間 達郎	㈱本間組

役名	氏名	法人名
理事	村瀬 昌志	㈱いりやまと
〃	平澤 利明	昭栄産業㈱
〃	綿井 伸行	㈱新潟関屋自動車学校
〃	津野 芳彰	マイコロジーテクノ㈱
〃	吉田 竹史	㈱吉運堂
〃	関本 浩司	セキモト㈱
〃	鈴木 元近	㈱シグマネット
〃	碓井 勝尋	㈱フィール
〃	川口 栄介	富士タクシー㈱
〃	後藤 透	金清木材㈱
〃	佐藤 信久	㈱千代田設備
〃	大杉 一文	㈱オオスギテック
〃	梶山 美佐男	新潟通信機㈱
〃	堀川 吉明	堀川建設㈱
〃	坂上 隆行	(福)敬世会 あがのこども園
〃	櫛谷 努	クシヤ㈱
〃	樋口 宏子	双峰通信工業㈱
〃	佐藤 貴洋	㈱佐藤商会
〃	高橋 純子	㈱DI Palette
〃	遠山 亮	新潟県印刷工業組合
〃	本間 健二	㈱丸屋本店
〃	高橋 剛	㈱シゲル・コーポレーション
〃	本間 健夫	㈱江口屋
〃	清水 智彦	㈲エルエイジー

役名	氏名	法人名
理事	佐藤 久栄	丸榮製粉㈱
〃	鈴木 壽男	㈱スズキ紙器
〃	阿部 隆一	富士印刷㈱
〃	宗村 勇二	㈲ムネケン
〃	篠澤 貴徳	東邦実業㈱
〃	高口 和則	㈱高口又四郎商店
専務理事	小田 敏博	(公社)新潟法人会

【監事】

役名	氏名	法人名
監事	田中 一昭	㈱田中石油
〃	梅川 正志	木山産業㈱

監事 2名	会長 1名 副会長 5名 常任理事 13名 理事 35名 専務理事 1名 <hr/> 55名
-------	---

法人税の電子申告は 4社に3社が ALL e-Tax です！！

国税庁では、納税者や税理士の皆様の利便性向上と税務行政の効率化のため、添付書類（財務諸表や勘定科目内訳明細書等）を含めたe-Tax（ALL e-Tax）を推進しています。



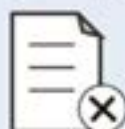
ALL e-Tax のメリット

業務の効率化



発送の手間や税務署へ行く手間を解消

ペーパーレス化



書類の保管場所が不要
遠隔地でも書類が確認可能

コスト削減



郵送料、印刷代、交通費の削減



法人税の電子申告のQ&A

01

添付書類を含めたe-Tax（ALL e-Tax）の利用はどのくらい進んでいますか？

法人が主要な別表や財務諸表など、申告に添付すべきものとされている書類をe-Taxで送信した割合は **74.1%**（令和4年度）です。

02

e-Taxで送信できる添付書類のデータ形式は決まっていますか？

法令により、提出する書類ごとにデータ形式が定められています。

◇財務諸表 **XBRL形式・CSV形式**
◇勘定科目内訳明細書 **XML形式・CSV形式**

※ 上記の添付書類はPDF形式による提出が認められていません。

03

CSV形式で財務諸表を作成し、e-Taxで送信する方法を教えてください。

「[国税庁動画チャンネル](#)」
に動画を掲載しています。

※ 財務諸表データの提出方法については裏面をご覧ください。

YouTube
「[国税庁動画チャンネル](#)」



新 署 長 ご 挨拶

新潟法人会の皆さん こんにちは！

新潟税務署長 知野 儀行 氏



本年7月の人事異動により、関東信越国税局課税第二部次長から新潟税務署長として着任しました知野儀行でございます。

私は新潟県出身で、令和2年の巻税務署長以来4年ぶりの新潟県勤務となります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

公益社団法人新潟法人会の皆様には、日頃から税務行政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴法人会におかれましては「よき経営者を目指すものの団体」と

して税知識の普及や納税意識の高揚を図るための啓発活動に熱心に取り組まれ、申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な運営にとつて、欠くことのできない大きな役割を果たしておられます。

各種研修会の開催、青年部会を中心とした租税教室、女性部会を中心とした「税に関する絵ハガキコンクール」を開催するなど、積極的な法人会活動を実施していただいております。

こうした皆様の活動は、税知識の普及、納税意識の高揚だけでなく、地域企業と地域社会の健全な発展に大いに貢献されており、重ねて、心から敬意を表する次第であります。

当署においては本年7月から内部事務の効率化・高度化を図るとともに、納税者の皆様の利便性や調査・徴収事務の高度化を目指すべく内部事務を集約処理するため「関東信越国税局業務センター新潟分室」による「内部事務センター化」が実施されております。

業務センターから納税者の皆様に対し、電話や文書によるお問い合わせをさせていただくこともありますので、ご理解と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、国税当局では、「税務行政のデジタル・トランスフォーメー

ション」税務行政の将来像2023」を公表し、税務を起点とした社会全体のデジタル化推進に貢献することとしております。

つきましては、新潟法人会会員の皆様方におかれましては、e-Taxの更なる推進やダイレクト納付等の納付のキャッシュレス化等に対しまして、より一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに当たり、公益社団法人新潟法人会の益々のご発展並びに会員の皆様のご健勝とご繁栄を心から祈念いたしまして、着任の挨拶とさせていただきます。



前列 知野儀行署長、後列 左より五十嵐記子副署長、大平朗統括国税調査官、本間正己上席国税調査官

新潟税務署人事異動(法人関係)

令和6年7月

〔転入〕

署長	知野 儀行	局課税二部次長
副署長(法人・酒)	五十嵐記子	庁課税部法人課税課補佐
総務課長	石川 勲	三条署 総務課長
税務広報広聴官	渡邊 博行	長岡署 酒類指導官
税務広報広聴官	坂井 愛	三条署 法人課税第一部門総括上席国税調査官
特別国税調査官(法人)	馬田 茂喜	水戸署 総務課長
特別国税調査官(法人)	藤田 栄	長岡署 法人課税第一部門統括国税調査官
特別国税調査官(源泉)	五十嵐義之	諏訪署 特別国税調査官(法人)
法人課税第一部門統括国税調査官	大平 朗	松本署 法人課税第一部門統括国税調査官
法人課税第五部門統括国税調査官	中村 博幸	村上署 法人課税部門上席国税調査官
情報技術専門官(法人)	土田 正	高崎署 法人課税第三部門統括国税調査官

〔転出〕

浦和署 酒指導官上席国税調査官	田中 豊	署長
栃木署 副署長	小山田暢樹	副署長(法人・酒)
局相談室相談官	杉本 謙一	総務課長
前橋署 税務広報広聴官	殿木紗斗美	税務広報広聴官
浦和署 特別国税調査官(総合)	小出 良友	特別国税調査官(法人)
巻署 法人課税上席国税調査官	景山 浩之	特別国税調査官(法人)
大宮署 特別国税調査官(法人)	清水 賢明	特別国税調査官(法人)
長岡署 特別国税調査官(法人)	川崎 智久	特別国税調査官(源泉)
沼田署 総務課長	羽賀 智信	法人課税第一部門統括国税調査官
高崎署 法人課税第六部門統括国税調査官	宮本 鉄也	法人課税第二部門統括国税調査官
局課税二部統括国税調査官(諸税担当)主査	桑原 宏典	法人課税第五部門統括国税調査官
富岡署 法人課税部門統括国税調査官	山岸 秀雄	法人課税第七部門統括国税調査官
村上署 法人課税部門統括国税調査官	桐生 直樹	情報技術専門官(法人)
長岡署 審理専門官(法人)	古川 信幸	審理専門官(法人)

〔署内異動〕

総務課長補佐	齋藤 雄介	酒類指導官総括上席国税調査官
新潟署 徴収第二部門統括国税徴収官	小林 鉄平	総務課長補佐
新潟署 法人課税第二部門統括国税調査官	澁谷 敬之	税務広報広聴官
新潟署 法人課税第四部門統括国税調査官	関口 昌典	特別国税調査官(総合)上席国税調査官
審理専門官(法人)	森口 徹仁	法人課税第四部門統括国税調査官

関東信越国税局からの重要なお知らせ

国税局の組織である「業務センター室」では、一部の税務署を対象に、申告書の入力などの内部事務の集約処理（内部事務のセンター化[※]）を実施しています。

納税者の皆様には、以下の事項につきまして、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

※ 「内部事務のセンター化」は、納税者の皆様の所轄税務署を変更するものではありません。

申告書等の郵送による送付先についてのご案内

令和6年7月10日（水）に関東信越国税局業務センター新潟分室が開設されることから、新潟署、新津署、巻署、新発田署、十日町署、村上署及び佐渡署では、令和6年7月10日（水）以降、申告書等を郵送等により提出する場合の送付先が変わります。

【送付先及び電話番号】

申告書等を郵送により提出する場合は、下表の送付先へ送付をお願いします。

所轄税務署	送付先		電話による問合せ先 (管轄税務署代表電話番号)
	郵便番号	宛名	
浦和署	330-9587	関東信越国税局業務センター	048-600-5400
大宮署			048-641-4945
足利署	328-8587	関東信越国税局業務センター 栃木分室	0284-41-3151
栃木署			0282-22-0885
佐野署			0283-22-4366
鹿沼署			0289-64-2151
前橋署	371-8587	関東信越国税局業務センター 前橋分室	027-224-4371
沼田署			0278-22-2131
藤岡署			0274-22-0971
富岡署			0274-63-2235
中之条署			0279-75-3355
新潟署	951-8625	関東信越国税局業務センター 新潟分室	025-229-2151
新津署			0250-22-2151
巻署			0256-72-2355
新発田署			0254-22-3161
十日町署			025-752-3181
村上署			0254-53-3141
佐渡署			0259-74-3276

※ 申告書等を郵送により提出する場合は、郵便番号と宛名を記載してください。住所の記載は不要です。

このシリーズは新潟発で活躍されているの方々をご紹介します。

シリーズ 人 にいがた発見



←サポーターに興味のある方はこちらへ

「食べて、遊んで、学べる
子どもたちの新しい居場所」

NPO法人Lily&Mary,S理事長

山田 彩乃さん



プロフィール

新潟大学卒業（理科教員免許取得）後、(株)Shitamichi HDに入社し「地域活性化モデル」として活動をスタート。2015 Miss Earth Japan「日本代表として世界大会に出場。地球環境問題を発信していく活動や芸能事務所「リリマリプロダクション」の代表として、地域を盛り上げる活動を行う。また、NPO法人Lily&Mary,Sの理事長を務め、地域イベントの企画や商品開発などを通し地域活性化を目指す他、2021年5月には「地球の子供食堂と宿題Cafeふるまち本店」、2024年5月には新潟市東区役所内に姉妹店をOPEN。自身がかねてから取り組みたいと考えていた教育分野にも活動を広げる。その他、モデル教育・地域貢献・講演会・理科授業など多岐にわたる活動中。

—— 本日は、新潟を拠点に地域活性化を目指して活動する「NPO法人Lily&Mary,S」理事長として活躍する山田彩乃さんにお話を伺います。山田さんは群馬県ご出身のようですが、なぜ新潟で子ども食堂を始めることになったのでしょうか？

新潟には大学進学を機に、10代の頃から暮らし始めました。大学在学中に出会ったのが、地域活性化に向けた活動を展開する団体・Lily&Mary,Sです。地域活性化や清掃活動を行っていく中で、教員を目指していたこともあり、いつか教育や子どもに関連する事業ができないだろうかとずっと考えていました。「まずはいろいろな子どもたちに集まってもらえる場所づくりを始めよう」という気持ちで、2021年5月に「地球の子供食堂と宿題Cafeふるまち本店」をオープンしました。家族の形や保護者の働き方が多様になった今こそ、子ども食堂が必要だと感じたからです。

—— ことし5月には「地球の子供食堂と宿題Cafeひがしく店」がオープンした



ばかりとのことですが、子ども食堂はどのような場所ですか？

現在、日本各地で子ども食堂は9,000箇所ほど営業していると聞かれています。運営頻度は食堂によって異なり、週に一度という施設もあれば、月に2、3回というところもあります。子どもたちに無償または低価格で食事を提供するのが子ども食堂の役割です。

—— 「地球の子供食堂と宿題Cafe」の特徴を教えてください。
3年前から営業しているふるまち



ひがしく店も同じです。食事を提供するだけでなく、学生ボランティアが施設内にいるので、学校の勉強を教えてもらったり、一緒に物づくりを楽しんだりして過ごすこともできます。食事、勉強、遊びはもちろん、他校の学生や大人たちとの交流も楽しめる子ども食堂です。

—— 毎日何名ほどの子どもが利用されますか？

ふるまち本店は1日平均25名ほど。ひがしく店は大人を含めて40名から50名くらいが集まります。ひがしく店は2024年5月17日にオープンしたばかりですが、開店して一ヶ月で子どもたちの登録が500名を超えて、反響の大きさに驚きました。利用者登録は高校生までが対象ですから、付き添いの保護者も含めるとさらに多くの方が利用していることになりました。

提供する食事は、現在は50食が目安。売り切れたらおしまいとしていますが、「どうしても食べたい」という方がいたら、寄付のレトルト食品を温めたり、冷凍ご飯を温めて提供したりすることもあります。

—— 厳しい環境下でも継続できている秘訣は何ですか？

「子どもたちのためになる場所を作りたい」という、同じ思いを持つ

企業や個人の方が応援してくれていることが継続できている一番の要因だと思います。しかし、安定的に資金を得ることは難しく、まずは月々1,000円のサポーターを1,000人集めることを目標に活動しています。現時点でサポーターは30人ほど。NPO団体として長年活動してきた経験を生かしてSNSなどを活用して取り組みを多くの方に発信し、地道に応援してくれる方を集めているところです。

—— その他にも大変なことはありますか？

毎日営業するために食事をつくるのが何よりも大変です。ふるまち本店の営業を始める前に、調理の手間をどうやって解決しようかなと考えたときに「隣に飲食店を作っちゃえ！」と思い浮かび、株式会社Shitamichi HDで飲食店を始め、毎日そこで食事を作ってもらおうという流れをつくりました。ひがしく店については子ども食堂のための厨房を作り、店長が料理を作ってくれています。

—— 人員の確保も難しそうですね。

「地球の子供食堂と宿題



Cafe」の運営を支えているのは学生ボランティアの皆さんです。ひがしく店であれば、新潟県立大学や新潟医療福祉大学。ふるまち本店は新潟大学や青陵大学など、近くの大生の学生を募り、一緒に運営しています。ボランティアとして関わる学生さんにも同じ食事を提供できますし、学生にとっても、こうした活動に参加する事や子どもたちとのコミュニケーションは学びに役立つと

本店は水曜定休となりますが、その他の曜日は毎日16時から20時まで営業しています。全国的にも、毎日営業している子ども食堂は減多にありません。しかも、子ども食堂専用の場所を設けて運営しているというスタイル自体が、とても珍しいのです。子ども食堂にはいろいろな活動があり、移動販売でご飯を提供したり、お寺でおにぎりを配ったりしていらっしやるところもあるようです。私たちの活動の特徴は、「常設された子ども食堂」と言えますね。

—— 年齢制限や料金体系は？

勉強や遊び場としては高校生までが自由に無料で利用することが出来ます。食事は中学3年生までは無料。高校生は300円、同伴された保護者の方は500円をいただいています。食事の料金はふるまち本店も、

の話聞いています。「勉強を教えなきゃ」「面倒を見なくちゃ」という思いで接するのではなく、「子どもたちから学ぼう」という前向きな意欲を持って参加してもらえたらうれしいです。

子ども食堂には、小さな子どもを抱えて訪れる親御さんもいます。普段、ゆつくりと食事をとることもままならない保護者の方が少しでも心の余裕を持てるきっかけとなるように、学生ボランティアと協力して運営しています。



—— 学生ボランティアにもいい経験になりますね。子ども食堂の今後の展望を教えてください。

「子ども食堂を増やしてほしい」という声をたくさんいただきますが、資金や食材の確保がなかなか伴わないのが現実です。そのため、子ども食堂を増やしていくというよりは、今の施設のサービスをさらに充実させて、利用する子どもたちや保護者の皆さんにとって、自宅でも、学校や職場でもない、第三の居場所として愛着を持って利用していただけたらうれしいです。更に、教育の要素を強化して、塾のような役割も担っていきたくですし、障がいを持つ子どもたちのサポートも取り入れていきたいらいいなと考えています。どんな挑戦も続けて、どんな子どもでも気軽に立ち寄れる居場所を提供していきたいですね。

—— 本日はありがとうございました。子どもが孤立することのない社会を目指して、これからも子ども食堂の運営を続けていってください。応援しています。

公益社団法人 新潟法人会 女性部会 会員大募集!

新潟法人会女性部会は、さまざまな業種で活躍する女性たちの自己啓発の場であるとともに、企業経営に求められる正しい知識や情報を得る場です。自らの視野を広げ経営スキルを高めましょう。女性の社会進出や人生においても有意義な人脈が生まれています。仕事のアイデアやためになる話を直にお聞きする機会がたくさん! 女性部会では「女性経営者による講演会」や「食」「介護」についてなど女性目線に立った講演会やイベントも多数計画中です。



**女性経営者や会員企業の女性であれば
どなたでもご参加頂けます!!**



入会申込はメール・FAX・URL で受付中!!

✉ nigataho@miracle.ocn.ne.jp

FAX 025-225-5699



←HPからでも
申込出来ます

随想

夕やけこやけ



私はなぜ時々無駄な物を買うのか



双峰通信工業株式会社
専務取締役
樋口 宏子

小さいころ、キッチンの床はリノリウム材でした。少しひんやりした感触が好きで座って母が料理をするのを見ていました。家で商売をしていたせいか人の出入りが多い家でした。様々な人たちが集まり、よく来る人もいれば、一年で一回、あるいは何年も来ず、どなたでしたっけ、という方もいました。あの時の人たちは今どうしているのか、たぶん二度と会えないと思うと月日の重さを感じます。うちに来ていた方々は、今思うとユニークな方たちでした。思い出した時にあの人は誰だったの母に聞くと、母もよく知らないけ

ど知り合い、芸能人の名前、先生と呼ばれる方たち、そして親戚といつてもほほ他人ではないか、と思うような雑多な人々の名前を覚えてくれました。この家で初めて会って仲良くなり、なぜか次の予定を立てていたという人もいたと言っていました。そういう時代だったのか、両親ともに、どうぞと招き入れるタイプだったのかよくわかりませんが、大変賑やかで楽しい、喧騒の時間でした。お夕飯時も家族以外の人がいるテーブルで、その時に聞いたこと話したことはかすかな記憶として残っていますが、半分は酒肴の席でしたから、ろくな話ではなかったでしょう。ただ、何かの折に、ふと思ひ出すのは年齢にそぐわない会話や内容でしたので、記憶しているのでしょうか。過ぎ行く人々でしたが、私の中にある影響を与えてくれたと思います。今となつてはお顔さえおぼろですが、不思議な懐かしさと少しの疎

ましさを伴った感じの思い出です。その時にいただいたものが何点か手元にあるのですが、その中でも自分の著書と何冊かの本は十年以上たつてから読みました。小学生によくこんな書物をなぜ、と思いつつ。たぶん酒席でのちょっとしたおふざけでくださったのでしょうか。本自体は大変興味深く、面白いので今でも読み返しています。また、クリスマスの際にいただいた陶器の花は今でもその頃の自分自身の思い出としてある一種の憧憬とともに大事にしています。時々、周りから見るとなんでそんな物を買う、と言われますが、もう二度とないありふれた日常の幸せの記憶の実体化を、知らないうちに企んでいるかもしれせん。自分自身でもなんでこんな物を買いたいのか不思議な時もありますが、たぶんそういうことだと無駄なような買い物に対しての言い訳としております。

編集後記

去る七月二十七日のこと。私は近所の小学校の夏祭り運営のため、スコールみたいな雨が降りたり止んだりの、ムワツとした熱気のグラウンドを行ったり来たりしていました。

そんな時、インドのニューデリーで開催された世界遺産委員会において『佐渡島(さど)の金山』がついにユネスコ世界文化遺産に登録された、という嬉しいニュースが飛び込んできました。世界遺産登録に向けた取り組みが始まって、二十七年目のことだそう。あきらめないで頑張り続けることって大事だなーと思いつつ、またちよつと元氣を出して、スーパーストーンとヨーヨーの入った段ボールの山をひたすら運んでおりました。

今回の表紙は、そんな佐渡の世界遺産登録を祝し、「道遊の割戸」の写真を選びました。佐渡といえば、いつもはゆったりとした島時間が流れ、佐渡汽船を下りた瞬間、磯の香と、曇天と、「ハァ〜〜〜」というちよつと気の抜ける佐渡おけさのミュージックがお出迎え。夜はエアコンの利いたお宿で、岩ガキ、もずく、イカソーめん、そして冷酒。この機に、久しぶりに佐渡を訪れるのもよいでしょうし、混雑しそうでちよつと…という方は、佐渡の特産品お取り寄せサイトで旅行気分を楽しむのもおすすめです。(私はレバーペーストと、干し柿＋クリームチーズをワインで楽しむのが好きです。)

広報委員 高橋 純子